

変形性膝関節症治療の アップデート

日時

2018年6月16日(土)
12:10~13:10(学会3日目)

場所

福岡国際会議場
会議室409+410(第4会場)

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1

座長

久留米大学医学部整形外科学教室
主任教授 志波 直人 先生

演者

帝京大学医学部整形外科学講座
教授 中川 匠 先生

認定単位:日本整形外科学会専門医資格継続単位(N) 1単位

必須分野:12. 膝・足関節・足疾患

運動器リハビリテーション単位(Re) 1単位

◆本セミナーでは、上記のいずれか1単位を取得できます◆

・昼食をご用意しておりますが、数に限りがありますので予めご了承ください。

・裏面に本セミナーの抄録を記載しています。



第10回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
ランチョンセミナー22

変形性膝関節症治療の アップデート

帝京大学医学部整形外科学講座

教授 中川 匠 先生

日本では世界でも類を見ない速さで高齢化が進んでおり、症候性変形性膝関節症の患者数も増加している。膝OAの患者集団は均一ではなく、年齢・性別・OAの進行度・併存症の有無などの患者背景に応じて最適な治療法を選択する必要がある。腰痛症と同様に運動器の慢性疾患である膝OAでは運動療法が有効であり、肥満患者に対する減量とならんで保存療法の要となる。しかしながら、疼痛・腫脹・関節の変形などにより運動療法が円滑に進められない場合は、薬物療法・装具療法・理学療法士による介入などの治療選択肢も併用する必要がある。外科的治療では骨切り術の固定インプラント、人工関節のインプラントデザインや素材の進化、コンピューター技術の適応などにより低侵襲で早い機能回復が期待できるようになった。患者背景に応じてその適応を十分に検討することにより術後下肢機能や長期成績の向上が期待できる。